



住み続けらせる地域をめざして

住民本位の高齢者保健福祉計画・介護保険事業（支援）計画づくり

介護保険料が高い。利用料が高くて必要な制度を利用できない。介護職員の不足などで地域に必要な介護事業所がない・足りない。介護保険制度では必要な介護が受けられない。家族の介護負担が大変・・・

地域に住み続けることは多くの方の願いです。しかし、相次ぐ介護保険制度の改悪や介護報酬の引き下げで、必要な介護が受けられず家族負担も増え、深刻な事件も報道されています。

一方、道内でも住民の立場で、介護保険料や利用料の軽減や高齢者保健福祉政策をすすめている自治体もあります。介護制度の改善を求める世論と運動が広がっています。今年度は、2021年度からの「高齢者保健福祉計画・介護保険事業（支援）計画」が検討されています。住民本位の計画にするために、標記の学習会を行います。

講師 日下部 雅喜 さん 大阪社保協 介護保険対策委員長

日下部さんは自治体で介護保険事業を担当し現在、介護事業所でケアマネジャーとして活動しています

日時 2020年8月7日（金）18時30分から

場所 北海道民医連会館3階 会議室

参加方法：Webを使って学習会を行います。日下部さんは、大阪から講演していただきます。参加を希望される方は、事前に参加のためのURLをお知らせしますので、電子メールで申し込みください。また、会場での参加も可能です。



主催 北海道社会保障推進協議会 問い合わせ・申し込み：☎011-758-2648 Eメール shahokyo@dominiren.gr.jp